



4 新規事業

商業者の生の声をあつめて
それぞれの地域を活性化
商店街動向調査、始まる

5 地域情報

アンケートの回答から
かながわ商店街★ミニニュース

6 イベント案内

食でまちを全国に PR
県内各地で食の祭典

7 元気な商店街

若手が知恵しほり、活発な販促活動
湘南ライフタウンショッピングセンター(協)

【セミナーのご案内】

『「楽天市場」から学ぶ ネット通販で売上 UP のコツ』

日 時:平成22年6月25日(金)
14時00分～17時00分
場 所:神奈川中小企業センタービル 14階
多目的ホール(横浜市中区尾上町5-80)
講 師:楽天(株)楽天市場事業 店舗開発部
エリア・アライアンスグループ 金子弘幸氏
ゲスト店舗:横浜チョコレート店のバニラビーンズ
八木克尚氏

参加お申し込みは、商連かながわ事務局
(045-633-5184) まで、お電話下さい。

両商連が、今なぜ社団法人化なのか。
一つには、公益法人制度の抜本的改革が

(2面に、相模原市商連 浦上裕史理事長
のインタビューを掲載)

2つの市商連が法人化へ
相模原市商連は一般社団法人に、厚木市商連も法人化を目指す

この4月に、県内3番目の政令指定市が
生まれるのと同時に「一般社団法人 相模
原市商店連合会」が設立された。今まで任
意団体だった相模原市商店連合会が移行
した形だ。

また、厚木市商店連合会も、5月の総
会で一般社団法人を目指すことになった。
商連かながわでは、商店街の法人化を促進
するために、いずれの市商連に対しても支
援を行っている。

行われたことにある。新制度では、社団法
人が公益社団法人と一般社団法人に細分化
され、後者は設立が容易になったという経
緯がある。

もう一つは、両市商連が活動を活性化
させていることにある。相模原市商連は、
「さんま祭り」等、商店街のイベント支援
事業や、市内の自治会回覧版受託事業な
どの事業活動を行い、着々と規模を拡大
している。

また、厚木市商連は毎年様々なイベント
を実施、協力しており、特に今年はB級ゲ
ルメの全国イベント「Bー級ランプリ」
の開催が控えている。街の活性化を目指し
て、独自性のある活動をしていくための法
人化である。

厚木市商連は、今年度中の設立を目指し
て動き出した。新団体名は「一般社団法人
厚木市商店連合会」である。商店会を
中心とした団体として、地域社会の発展に
寄与すること。また、各種の事業を地域や
時代のニーズに沿って展開することを目指
に掲げている。

行政も限られた財政の中でやりくりせね
ばならず、地域の核である商店街といえど
も任意団体である組織には、支援をしにく
くなっている事情もあるのではないかと。両
市商連は将来を見つめ着々と一歩を踏み出
したところだ。

All-round Communicate

あらゆる情報を
最も効果的な「かたち」に創り上げる。
それが、私たちの使命です。

PORTSIDE

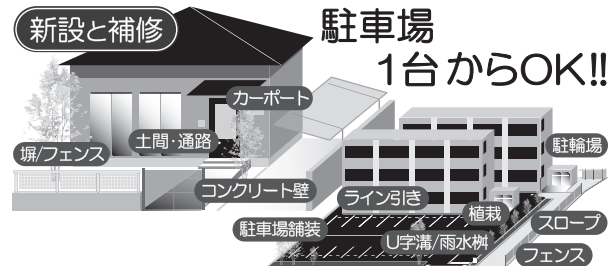
「発想から発送まで」、ワンストップサービスでお客様のチカラになります。

株式会社ポートサイド印刷 <http://www.portside.co.jp>

〒236-0002 横浜市中区鳥浜町16-2 Tel.045-776-2671(代) Fax.045-776-2678



新設と補修



どんなに小さな仕事でも、プロの技術で対応いたします。
まずはお気軽にご相談ください！

前田道路株式会社

西関東支店
〒231-0032 横浜市中区不老町3-125 下山内ビル6F
Tel.045(662)4121 045(662)0071
<http://www.maederoad.co.jp>

商連かながわの
推せん会社

ディスプレイ看板 五光 小田原店・アーケード 日米アトム・街路灯 日本街路灯製造
防犯カメラ 日立ビルシステム・道路整備 前田道路・印刷 ポートサイド印刷

県内3番目の政令指定市が誕生 相模原市の「これから」を語る

【浦上裕史理事長インタビュー】

4月1日付けで新しく法人として設立された「一般社団法人 相模原市商店連合会」の浦上裕史理事長に、事業活動や今後の展望について聞いた。

『なぜ一般社団法人を選んだのですか？』

我々は、市からも補助金を得て活動していますし、自主財源を得るために事業活動し、税務申告もしていましたが、結局のところ行政的には「認知されていない団体」だったんですね。

法人格取得のために、協同組合化なども検討しましたが「一般社団法人」がとても設立し易くなったので、政令指定市となる平成22年4月1日に合わせて移行しました。

これで、法人組織として行政とのやり取りもスムーズになります。相模原市商連として「自主活動」「行政事業の受託」「意見活動」の三つを柱に、事業活動を行っていきます。

『自主活動とはどのようなことをするのですか？』

自主活動とは、会員商店街のために行う事業活動のことです。

「自治会回覧版事業」では、市内各エリアの自治会の回覧板の作成を行っています。自治会からの委託費や、回覧に出す広告を獲得するなどして活動資金となる収益を得ています。

「事業系ゴミ共同回収事業」では、市内数か所の商店街で指定のゴミ袋を配って実施し、加盟商店の利便性を高めています。



西門商店街にて、商店街理事の方と打ち合わせをする浦上理事長（左）

『行政事業の受託とは、どのようなものですか？』

相模原市の事業を受託し、代わりに実施する事業です。例えば「姉妹提携市連携事業」があります。

これは宇宙航空研究関連の施設がある自治体でつくる「銀河連邦」交流活動のことで、ここ数年、活動の幅が広がってきています。

岩手県大船渡市から買い上げた新鮮なサンマを活用する「サンマまつり」の実施などから、最近では鹿児島県産のタンカン（柑橘類）を使ったジャムを長野県の業者が商品化し、それを相模原市内で販売することになりました。きっかけは我々が開催した物産販売会です。

また「プレミアム付さがみはら商品券」の事務を受託しましたし、今年度は、公共の場でのバナー広告（旗）の審査が始まるので、その受託をします。

このように、市が行う様々な事業の一部を受託し実施しています。

『意見活動は、具体的にどのような活動をしていますか？』

意見活動は、市や県、国に事業者の声を

伝えていくことです。市の政策に対しても、何も関わらないでいると、議会で決まってしまう結果に意見することしかできなくなってしまうと思います。

私達は市議会議員と話す機会を随時持っています。結果が出る前に、私達の意見が伝わるように、うまく調整しているのです。

また、子育て給付金が支給されるようになりますが、私達は対象者に「商品券」で給付金を配布できないか依頼しています。

『相模原市の消費者や商業の状況は、いかがですか？』

市内には、まだまだ大型店の開業が続き、小田急線の延伸などもあり、交通の便はこれから良くなっていくことでしょう。

一方、消費者は「近所の商店街で必要なものが揃わないから、大型店に行く」と言います。確かに店の廃業が増え商店街は用を足さなくなっています。しかし私からすると、これは、お客が利便性を重視しすぎた結果でもあると思います。

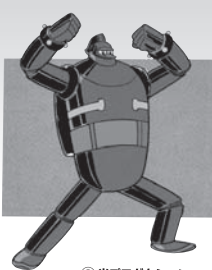
それに当然、私達事業者も責任重大です。消費者の行動に対する勉強が圧倒的に不足しています。今の消費性向を理解しないままでは生きてゆけません。

20年後をどうするか。どんな商店街をつくっていくか。本気で考え、総合的な計画を立てていかねばならないと考えています。

相模原市商連は、さまざまな事業活動を少数精鋭でこなしている。政令指定市になり変わり続けていく相模原市の将来を見すえ、今後も着実に活動を展開していく予定です。

景気対応緊急保証

で中小企業の皆さまを応援します！



© 光プロダクション

【ポイント】
一部の例外業種を除き、原則**全業種**が対象
一般保証とは**別枠**の保証商品

保証商品の詳しい内容について、金融や経営の相談などお気軽に
お問い合わせください。

※ご利用には市町村長の認定が必要です。

※本商品の取扱期間は、平成23年3月31日迄です。

※認定の取得が保証や融資の決定ではありません。 ※審査の結果、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。



神奈川信用保証協会

ホームページ <http://www.cgc-kanagawa.or.jp>

営業部 045(681)7178	川崎支所 044(222)7811	小田原支所 0465(23)0138	横須賀支所 046(822)3821	藤沢支所 0466(23)0792	厚木支所 046(221)0633	相模原支所 042(752)0575
---------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------



開港150円商店街から Y・Y・150円商店街へ 横浜市商連、好評イベントを未来へつなげる

横浜市商連が実施する統一販促事業が好評だ。昨年、市内117の商店街が参加して開催されたイベント「横浜開港150円商店街」が、今年も継続実施される。今回は、横浜ベイスターズと、横浜マリノスの両チームの協力を得た「横浜Y・Y・150円商店街」として、市内40商店街（5月27日現在）での開催だ。

今年のイベントは、市内統一開催日である6月12日、13日と11月27日、28日の4日間に加えて、各商店街が自由な日取りを決めて開催する形で実施する。

内容は「商店街全体を150円均一ショッピングに見立て、各店で150円商品他を店頭で陳列し、コミュニケーションを取りながら販売する」というもので、昨年と同様だ。

【150円商店街 車座集会】

5月中旬に、横浜市商連と商連かながわは共催で、「150円商店街」イベントの具体的な実施のコツと応用を学ぶ研修を、戸塚商和会、横浜橋通商店街（協）、左近山商店連合会の3商店街で実施した。講師は、新庄市職員で、NPO法人AMPの代表、齋藤一成さん。

齋藤さんは「あくまで150円という安価さで、お客を引き付ける企画。迷った時はとにかく基本の3か条に立ち返ることが大事。そしてこの企画に付いてこれない個店がいても、仲間として商品の選び方も含めてワイワイ話し合っ乗り越えてみてはどうか」とアドバイスしていた。



100円商店街三か条（新庄市）

一、100円商品は外に陳列すべし

（なるべく多くの客に見せるべし。店内に隠すことなかれ）

二、外で、お客様と会話すべし

（客を誘い込み店内商品を見せるべし。素通りさせるなかれ）

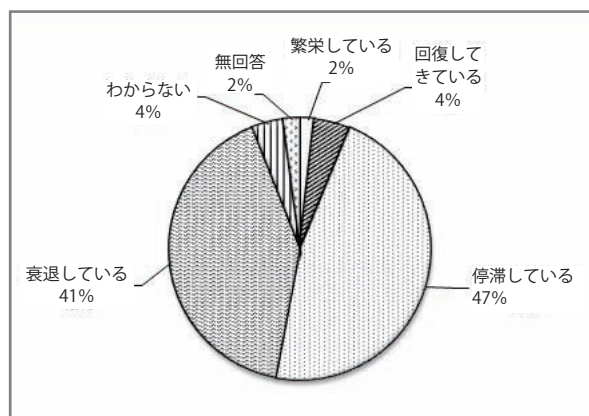
三、100円商品の精算は店内ですべし。

（より通常商品を多く売るべし。100円商品のみ買わせるなかれ）

今年の目玉は横浜ベイスターズと横浜マリノスの特別協力を得た「背番号&ネーム付きユニフォームプレゼント」企画だ。これは、特別なユニフォームを抽選でお客様にプレゼントするという企画である。応募は商店街に貼るポスターに掲示するQRコード（読み取りコード）から携帯電話を通じて行うため、イベント当日に商店街に来た消費者が対象となる。

横浜市商連は、ポスターやプライスカード、のぼり旗などを商店街に提供するほか、元祖「100円商店街」の発案者である、山形県新庄市の齋藤一成さんを招いて、希望3つの商店街において「150円商店街車座集会」として研修を行った。（後述）今年も、横浜市商連の大きなイベントが動き出す。

◎商店街の景況感



◎商店街の景況感では「停滞している」が46・7%、「衰退している」41・1%。全体的な景況感は悪化している。「繁栄している」「回復してきている」の回答が合算で6・2%台まで低下する一方、「衰退している」は5%増加した。

商連かながわ（神奈川県商店街連合会）は、県内の商店街の意識調査である「神奈川県商店街実態調査」を実施し、調査結果を冊子にまとめた。そのポイントを抜粋する。「郵送、またはFAXにて送付・回収。800商店街に送付、回収数338（回収率42・3%）」

商店街活動は、やはりイベントの充実 平成21年度商店街実態調査結果まとまる

◎商店街の中の、後継者がいる店の割合は減少傾向

後継者が決まっていなかった店が9割強の商店街が36%もあり、平成18年度調査時の15%と比較すると「後継者決定率」は大幅に低下している。

◎依然6割以上の商店街に空き店舗

空き店舗のある商店街数は微減。うち9割が、今後の活用が決まっていなかった空き店舗だった。しかしその中には利用可能な空き店舗も36%あり、活用の余地が残されている。

◎今後取り組みたい活動は「イベントの充実」がトップ

従来と同様に「イベントの充実」などを重視する商店街が多く、また商店街活動そのものの強化に向けて、組織の再構築と意思疎通の強化を考えている回答も多かった。

◎76%の商店街で加盟店の廃業が出ており、6%の商店街では10軒以上が廃業

廃業したお店の業種は小売業が6割、酒店・鮮魚店・洋品雑貨店などが目立つ。

また、加盟店の廃業に伴う商店街への影響は、特に変わらな（33%）、組織率低下（22%）が目立っている。客足が遠のき売上低下を招いたとの回答は19%であった。

商業者の生の声をあつめ それぞれの地域を活性化

「商連かながわ 新規事業」

商店街動向調査事業がスタート

商連かながわの新規事業として、4月から「商店街動向調査事業」が始まった。これは県内から集めた50人のモニターに対し、インターネットを介して、タイムリーな質問に答えてもらったり、意見を募集する事業である。

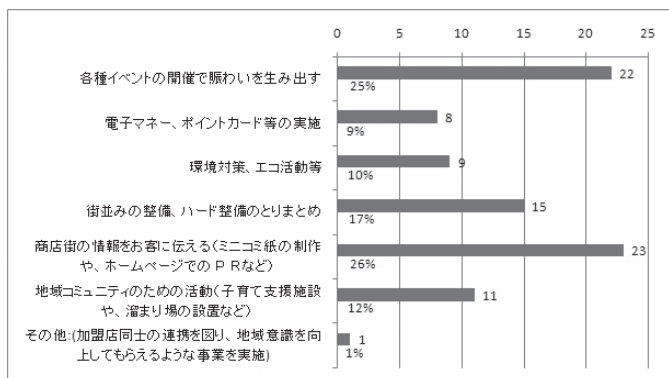
回答者は他の商店街で行われている、いろいろな工夫や課題解決の手法を意見交換することができ、当会はこうした商業者の生の意見を吸い上げ、神奈川県など行政への要望につなげていくなど、意見を生かせる環境をつくり上げていく。
(※商連かながわHPにグラフなどで視覚的に見やすい結果概要を掲載中)

第1回の質問では、全体的な景況感や最近の関心、今年度の活動計画などを聞いた。集まったモニターのうち総回答者数は28人となった。(5月～6月に行った行事についても聞き、その内容は次ページで紹介する)

また、「商店街インターネット・キャビネット」という仮称についても案をもとに次回に検討する。

「各メンバーの景況感」

↓所属している商店街は賑わっておらず、自分の商売もどちらかというと順調ではない(約6割が回答)



ただし、商店街の枠にとられずに様々な活動を広げているメンバーも多く、「待ち」の体制ではない状況が伺える。

「今年度、重点的に取り組む事業」

↓実施中のイベントの継続(約2割)
その他の回答は、ハード整備とそれに伴う商店会組織の再検討、環境美化活動、商店街独自のエコポイント事業、商店街以外の団体との連携など。
スタンプ事業が終了するのでその整理

をするなどの回答のほか、ネットスーパー商店街版をつくるなど新規事業の企画も。事業の整理統合が進んでいる様子。

「所属している商店街(会)に期待すること」

↓各種イベントの開催で賑わいを生み出すことと、商店街の情報をお客に伝えることの2つがトップ

「商店街のことで困っていること、課題」

↓商店街活動を担う人材が不足している(約4割)
人がいない、商店街活動をする中で本業が圧迫される、時間がない等の答えが目立った。また「商店街組織の問題(個店の連携がうまくいかない、加盟が少ない等)」や、「商店街の業種構成の問題(業種が揃わない等)」などの意見もあった。
『地域の中で残っている商店街は一つだけ。その狭い地域の中、解体された商店街の個店が点在しています。もう少し協力し合えば賑やかになると思うのですが商店会振興に興味がないようです(Aさん)』
『とにかく時間が無い事。商店街の役員と企画事業部としての仕事と本業等々。あまり深く掘り返して調査する時間もなくて、ペースが落ちてしまふ。(Bさん)』

★事務局より：今回の結果報告について

商店街の課題については「商店街活動を行う人材の不足」「商店街組織の問題」などが目立ちました。次回以降でこの点に関して詳しく踏み込んでいきます。

また当会事業についてもお聞きし、実施予定のキャンペーン事業については、「他

あなたの調査票
から日本の未来
が見えてきます



10月1日、国勢調査を実施します！

2010 国勢調査

平成22年10月1日

総務省統計局

県の物産展を誘致」が最も支持を得ました。「他県とはいわずに県内商店街間の物産展でも可」という意見もありました。

また「商店街地域連携事業」については、事業自体をよく知らないというご意見があり本紙最終面に簡単に事業紹介をさせていただきました。不明な点については、いつでもお尋ねください。

Pick up

【参加者の名言】

『今までの経験から中途半端な企画は労力の損失です。企画した本人(商店街)が楽しく参加できなければ意味がありません。終わった後に皆が笑えるかが勝負だと思います』

かながわ商店街★ミニニュース

★横浜市中区

伊勢佐木町商店街に、イベントスペース「CROSS STREET」オープン

伊勢佐木町4丁目に、最新の設備を備えたイベントスペース「CROSS STREET」が完成し、5月15日から土日2週間かけてオープンイベントが開催された。ミッキー・吉野氏など横浜にゆかりのあるアーティストが次々登場。会場は大いに賑わった。

元は駐車場だった場所に出来たこのライブハウスは、伊勢佐木町商店街が、地域の文化を発信する基地として企画・運営するために建設した。立ち上げ時は横浜市の支援を受け、今年度からは県も「商店街まちづくり推進モデル事業」により運営面で支援する。

この「CROSS STREET」の名称は、ミュージシャンの「ゆず」が命名したという。コンサートやライブだけでなく、学校の文化祭や寄席、展示会など多彩な利用ができる多目的スペース。今年イベントが目白押しだ。(http://www.cross-street.info/)

★横浜市中区

白根ショッピングセンターで毎月、朝市を開催

旭区のバス路線沿いにある白根ショッピングセンターでは、毎月第2土曜日に「白根朝市」を開催し、地域に定着させている。横浜銀行前の広場にテントを貼り、精肉

店や製パン店、珈琲店、生花店などの若手商業者が店を出す。地域住民の手作りの店なども並び、賑わいを見せるといふ。

5月8日は抽選会も同時開催したため、付近の住民たちが大勢詰めかけた。今年で4年目となるこのイベント。商店会の若手がけん引し、地道な活動を継続。



メンバーの1人の西山哲也さん(珈琲自家焙煎と自然食品販売)は地域の農家の野菜なども販売している

★座間市

座間市内の各商店街で、今年もひまわりキャンペーン実施

地域にすっかり受け入れられている。

座間市内では「咲かせよう! 座間のひまわりキャンペーン2010」が、半年強の間実施される。市商連の呼びかけにより、市民が初夏に市内全土に種を植え、その地域独自の「おらがひまわり」を育て始める。7月30日と、9月3日の両日には、ひまわりの大きさを競う巨大ひまわりコンテストと、高校生以下の子供たちに写生しても

らう写生コンテストを同時開催予定だ。そして10月10日には集大成として「ひまわりフェスタ」を日産座間工場の敷地内で盛大に開く。コンテストの受賞者はこの日に発表。市商連が中心となり市や教育委員会、観光協会を巻き込んだ大きなイベントになる。

★秦野市・松田町

「Benri Net 39 丹沢」商業者グループ発足、落花生を使った商品開発

秦野市や松田町の商業者たちが地域活性化のために「Benri Net 39 丹沢」というグループを結成し、この5月に新商品をリリースした。

落花生ばん・落花生ごはん・落花生もち・落花生生キャラメル・落花生豆腐など、バリエーションあふれる各商品は、落花生販売店や製パン店、米穀店、寿司店などの異業種コラボレーションによるもの。地元秦野の名産品である落花生をテーマに各メンバーがアイデアを出し合った。

5月3日には、小田原市で開催された「小田原まちなか市場」に出店し好評を得たという。落花生パンはメンバーの店「パンのくま小屋」で販売が始まっている。

そして同グループでは、インターネットを活用した「ネットスーパーの商店街版」を企画中。

「我々は今、大手と同じ道具を持ったところ。道具を道具を持たなければ何もできません。今後この道具を使っていかに地域・商店街が活性化させられるかが課せられている」と、リーダーの飯田力さん。今後の展開に期待大だ。

★小田原市

5/3に、小田原まちなか市場3ほっとファイブタウンが開催

GW、小田原市中心街で「小田原まちなか市場」が開催された。「地産地消」がテーマで小田原・足柄地区の生産者などが自慢の商品をもって出店した。

農・漁と商業の連携、周辺商店街主催のイベントとの連動などをはかりつつ、小田原・足柄周辺地域の魅力を内外にアピールし、商店街の活性化・販売促進に役立てようという企画、とのこと。(志村屋米店、志村成則さんより)

イベント会場ではファーマーズマーケットや地酒、地ビール、壺焼き芋、つきたて餅などを販売されていた。地元の新鮮でこだわりのものを美味しく食べることもできる、好評イベントだ。

★その他のミニ情報

弘明寺商店街(協)「横浜市」

組合設立より60周年を記念して、今年は大きなイベントを企画中。5月〜6月にはポイントカード2倍セールや、満点カードとお米交換会などを実施した。

辻堂海岸商店会「藤沢市」

携帯電話用のホームページを検討、電子看板との連携を考えたネット朝市、時間決め超特売などを企画中とのこと。

葉山町元町商店会「葉山町」

商店会マップを作成。各商店の紹介や葉山元町の主なイベントが掲載されている。

食でまちを全国にPR 県内各地で食の祭典

今年は県内各地で、様々な「食」をテーマにしたイベントが開催される。中でも「B級」グルメ関連が元氣だ。秋にかけて開催される2つの大きな食の祭典を紹介する。

2010年9月18日・19日

「B-1グランプリin厚木」

B級グルメブームを作ったといえる全国大会は、今年で5回目。いよいよ厚木市が舞台となる。主催は市や商工会議所、そして厚木市商連でつくる「B-1グランプリin厚木実行委員会」。厚木市商連の金森幸雄会長は大会の副会長を務める。当日は、県内の郷土料理やご当地グルメを実演販売する「ロコフードフェスタ KANAGAWA」も同時開催だ。

今回は初めての首都圏開催とあって、30万人の人手が予想されている。会場も当初の厚木中央公園のほか、厚木野球場とイトーヨーカドー厚木店駐車場の2カ所が追加された。

当日は、全国から集まった約45の出場団体がそれぞれのブースで自慢のB級ご当地グルメを来場客にふるまう。お客はチケットを購入して好きなものを食べ、美味しいと思ったグルメの投票箱に、使用済みの箸を入れて投票する。集まった箸の重さで順位が決定する仕組み。

5月4日、5日にはプレイベントとしての「神奈川フードバトルinあつぎ」が開催された。来場者は2日間で11万人で、「なつかしい給食あげパン」(株オギノパン・相模原市)

が金賞を獲得した。

着々と準備が進む厚木大会。9月には、全国区の味が楽しめる。



「神奈川フードバトルinあつぎ」の会場は大変にぎわい、混乱もなく大盛況だった。

2010年10月2日・3日

「全国丼(どんぶり)サミット」

全国の6地域から、自慢の丼料理を集めた丼(どんぶり)サミット。来場客は、趣向を凝らした全国の丼を食べ歩くことができる。石川県金沢市で第1回目が開催され、10月には第二回目が小田原市で開催される。場所は、小田原城二の丸広場等。参加団体は6〜8団体程になる予定だ。

主催は全国丼サミットおだわら2010実行委員会(小田原市・小田原市商店街連合会ほか)。

集まる6地域は、小田原市、石川県輪島市、千葉県鴨川市、愛媛県宇和島市、和歌山県田辺市、大分県臼杵市で、D-6として友好協定も結んだ。

「小田原どん」は現在約20店が提供中。梅や相模湾の鰻など、新鮮な小田原の幸を伝統工芸品の美しい小田原漆器に盛りつけるのも大きな特長だ。味はもちろん、それぞれの器も堪能することができる。

教えて！身近な税務相談⑦

「公益社団法人に寄付すると税金が安くなる？」後編

Q 現金だけでなく土地や建物などの資産を公益法人に寄付しても所得税が少なくなるという話を聞きましたがこれは本当なのでしょうか？

A 個人が所有する土地や建物などの資産を「通常の法人」に寄付した場合には、その寄付した資産は寄付時の時価で譲渡があったものとみなされ、これらの資産の取得時から寄付時までの値上がり益に対して所得税が課税されます。これに対して、個人が所有する土地や建物などの資産を「公益法人等」に寄付した場合において一定の要件を満たせば資産の値上がり分に対する所得税が非課税とされます。

Q どのような要件を満たせば資産の値上がり分に対する所得税が非課税になるのでしょうか？

A 資産の値上がり益に対する所得税が非課税になるためには①公益増進要件②事業提供要件③不当減少要件の3つの要件を満たし、かつ国税庁長官の承認を受ける必要があります。

Q ①公益増進要件とはどのようなものなのでしょうか？

A 公益増進要件とは、個人から公益法人等になされた寄付が教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与していることが必要となるというものです。公益の増進に著しく寄与するかどうかは、公益目的事業の規模、公益の分配、事業の営利性、法令の遵守等の4基準で判定されます。

Q ②事業提供要件とはどのようなもののでしょうか？

A 事業提供要件とは、寄付財産が、寄付があった日から2年以内に公益目的事業の用に供され、又は供される見込みであることを要するというものです。

Q ③不当減少要件とはどのようなものなのでしょうか？

A 不当減少要件とは、公益法人等への財産の寄付を行ったことにより、その寄付を行った者の所得税を不当に減少させたり、寄付を行った者の親族等の相続税や贈与税を不当に減少させたりする結果とならないものであることを要求するものです。

Q 国税庁長官の承認はいつまでにとればよいのでしょうか？

A 非課税承認を受けるには、寄付の日から4ヶ月以内に所轄の税務署に承認申請書を提出する必要があります。ただし、寄付の日から4ヶ月以内に確定申告書の提出期限が到来する場合には、その確定申告書の提出期限が承認申請書の提出期限となりますのでご注意ください。



公認会計士・税理士・行政書士 河野貴浩 info@kono-cpa.com

湘南ライフタウン ショッピングセンター (藤沢市)

——若手が知恵しぼり、活発な販促活動を展開——

JR辻堂駅の北口からバスで10分。幹線道路沿いに、ジャスコと一体となった二階建てビル型の専門店街「34の専門店ライフピア」がある。それが湘南ライフタウンショッピングセンター協同組合だ。

競合も激しい中、ジャスコの集客力もあり、同組合（以下、ライフピアと表記）では、物販店が元気だ。独自のポイントカード「ピアポイントカード」を活用し、二代目や三代目の店主が中心となり様々な販促活動を実施している。

◎販促の中心、ピアポイントカード

ライフピアには毎月のイベントカレンダーが壁に張り出されている。まず目に入るのが「ピアポイントカード」だ。

105円の購入で1ポイント加算、500ポイントで500円券になる、磁気カードであり、このピアポイントカードの会員に向けた様々なイベントや販促活動が商店街活動の中心となっている。

まず毎週火曜日は「火曜市」として、それぞれ個店で目玉商品を用意し、ポイントの割増サービスを行う。加えて、毎月20日と30日には「ガラポン抽選会」だ。30000円以上のお買い上げレシートで1回引けて、景品もポイントでもらえる。毎回2〜3時間で終わってしまうほど好評だという。

他にも、年に3回、10倍ポイントデーなどもあり、ライフピアはピアポイントカードを効果的に活用して、お客の囲い込みを行っている。

◎金券「ぐらーボン券」で様々な企画

また、一割増しのプレミアムのついたオリジナル商品券の販売や、毎月第2土曜日に「ぐらーボン券」という3000円分の金券をお客に配布する企画なども実施中だ。

ぐらーボン券は50円券×6枚のセット。加盟店で2000円以上購入のお客を対象に、先着300人までの方にプレゼントしている。「以前は、先着300人の方に無条件に配ってたんですね。大変な行列でした」と、話してくれたのは、販促情報ネットワーク委員長の小林義光さん（喫茶店経営）。

来るのは同じお客ばかり。配った金券は生鮮食品店に集中し過ぎてしまう。これを何とかせねばと、実動部隊である販促実行委員の若手メンバーたちと知恵を絞った。そこで今年4月からやり方を変え、実際に買い物をしたお客だけを対象にし、事前PRをやめて、店頭ポスターのみで告知するようにした。

「やり方を変えてからは、洋品店などの物販店で買い物をしたお客が、金券をもたつて生鮮食品を購入するような流れも生まれてきて、大行列も起きなくなり、かなり改善されました」と、販促実行委員長の柿澤博志さん（化粧品店経営）。メンバーは手ごたえを感じている。

◎施設全体の集客を考えた「みどりのフリーマーケット」

昨年3月からは奇数月に「みどりのフリーマーケット」というイベントを開催している。施設前の広場に地域住民が40組ほど出店し賑わう。出店者には、花の苗を贈るといふ粋な計らいもある。

ライフピアとしては、ステージを用意してフラダンスなど出演者を招いたり、地元の子供たちの演奏会などの発表の場を提供している。

「売るぞ売るぞ」の販促だけではない、お客様に還元できるサービスをしようと思ったんです」と、柿澤さんが言う。「まだまだ個店の売上には結び付かないけれど」と小林さんが苦笑する。



活発な販促活動の企画や実施は、小林さん(右)と柿澤さん(左)など20代、30代の若手メンバーが中心だ。

二人は、隣りのジャスコの販促担当者ともよく話すという。最近のテーマは「施設全体として集客をはかる」こと。ジャスコはフリーマーケットにも協力してくれている。また両者の合同チラシも始めた。同じ商業者として一緒に集客しようと、お互い連携を高めている。

◎節約サービスよりも、楽しさや面白さを

柿澤さんは「何か企画をやるたびに、改良しなくてはと思う」と言う。魅力的な活動で加盟店とお客の両方に喜ばれる企画にしようという日夜、頭をひねっている。

また、小林さんは「最近、実弾」があまり利かなくなってきたような気がします」と話す。実弾とは金券やポイント出しのこと。お客が「節約疲れ」して、もともと楽しさや面白さを求めているのではないかと、小林さんは分析する。

「物を買うだけじゃなく、心に訴えるような楽しさも打ち出せたらいいな」若手の元気が魅力的な企画を生み、それがお客に伝わり消費につながる。ライフピアにはそんな好循環が生まれている。

データ

DATA

協同組合湘南ライフタウン ショッピングセンター

所在地：藤沢市大庭5061-2
 会員数：34店
 設立日：昭和59年6月3日
 （施設開業日）
 電話番号：0466-87-3345
 URL：http://lifepia34.fiw-web.net/

商連かながわ事務局より

■第一回総会を開催しました

商連かながわは、5月21日に神奈川中小企業センターにおいて第一回定時社員総会を開催しました。平成21年度事業……等の議案が承認されました。

新年度の事業の柱は「情報提供を充実させること」。今回の総会でも、会員の相互情報交換、最新の情報機器やサービスの紹介などを行いました。

総会に先立って行われた理事会では、相模原市商連の浦上会長に、一般社団法人になられた経緯等々をお話いただきました。

総会の終了後には、戸塚区商連が開発した「メールマガジン配信システム」や、「無線LAN機器と多機能携帯電話iPhone」各種の共済制度など、様々な情報を紹介しました。

商店街や個店向けに、様々なサービスや商品がある中で、良いものを選びそれを商店街の皆様にお伝えしていくことを心がけて今後も様々な情報提供を行っていきます。

■メールマガジン配信システム

「マッシュアップメール」について

戸塚区商店街連合会が、経産省の中小商業活力向上事業により開発したメールマガジン配信システムです。

個店や企業がそれぞれ、バラバラに送っている複数のメールを、自動で1通に編集し、指定した時間に消費者に配信するというものです。

戸塚区商連では、自治会や消防署、警察署などの情報と一緒にメールで配信することになっていることで、商店街として公共性の高いサービスを提供することもできます。

★商連かながわの事業紹介①

「商店街地域連携事業」

商連かながわでは、商店街とNPO、大学、地域活動団体などが連携して行う活動への支援を行っています。

商店街地域連携事業は、商店街活動に協力するNPO法人、大学、地域活動団体のネットワーク化をはかり、商店街が行う地域連携事業への支援を行う事業です。

具体的には、NPO法人や大学などと連携して、地域活性化のための活動をしている商店街に対し、その事業費の一部を助成するものです。

昨年度は、川崎市多摩区の登戸東通り商店会と明治大学農学部との協働事業を支援いたしました。(昨年度、当紙面でレポートを連載)

登戸東通り商店会では、定期的に開催しているイベント、ナイトバザールに明治大学の学生がポスター製作やブースの出店などで関わるようになり、今年度は地域の小学校を巻き込み、子供の社会教育の場として商店街に買い物に行く企画が進行中です。



昨年のナイトバザールの様子

ご興味のある方は、商連かながわ事務局にご連絡ください。

■商店街動向調査モニター募集について

本紙に掲載した「商店街動向調査」のモニターですが、次の地域の方々が、現在、お一人もいない状況です。

【モニター募集中の地域(市区町商連)】

横浜市内(神奈川区、西区、港南区、金沢区、港北区、青葉区、都筑区、泉区、瀬谷区)、川崎市内(田島、大師地区、幸、日吉、中原区、高津区、多摩区、麻生区)、横須賀市、平塚市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、葉山町、大磯町、愛川町

【モニターの条件等】

- ・電子メールを受け取ることができ、パソコンが携帯電話などで文字を入力し、アンケートに回答できる方
- ・1回の回答につき500円相当の謝礼有り
- ・任期は2011年3月31日までの約1年間

ぜひ、ご応募ください！

編集後記



今後も様々な情報提供をしていく中で、本紙を活用してまいります。

右記のモニター事業から寄せられる情報など、タイムリーな話題を提供していきます。

商連かながわ会員店舗及び従業員の皆様へ

日産新車購入キャンペーン! 実施中

日産車購入で
1万円商品券
プレゼント!

2011
3/31
まで

■詳しくは商連かながわ事務局まで
TEL:045-633-1584

コンパクトに刺激を。コンパクトにエネルギーを。

ROCK 'N' SMALL 新型ジューク6月誕生

100%電気自動車
日産リーフ
予約受付中



神奈川日産自動車
☎0120-372323

日産プリンス神奈川
☎0120-051123

日産サティア湘南
☎0120-471132

日産カレスト
☎0120-159018